

架け橋



平成28年4月14日から16日にかけて大きな揺れが発生した平成28年熊本地震において、天草広域連合消防本部は、前震発生日の4月14日午後10時30分以降、4月29日までの間に、延べ43名の隊員を派遣しました。

倒壊家屋からの救出活動、救急、警戒及び後方支援を、熊本県内各消防署や緊急消防援助隊として派遣された部隊及び自衛隊と共に行いました。

主な内容

- 新ごみ処理施設整備計画について 2～3
- 平成27年中の火災・救急の概要 4
- 通電火災に注意 5
- 清掃センターからのお願い 6～7
- 各署所の配備車両・平成28年第2回臨時会 8

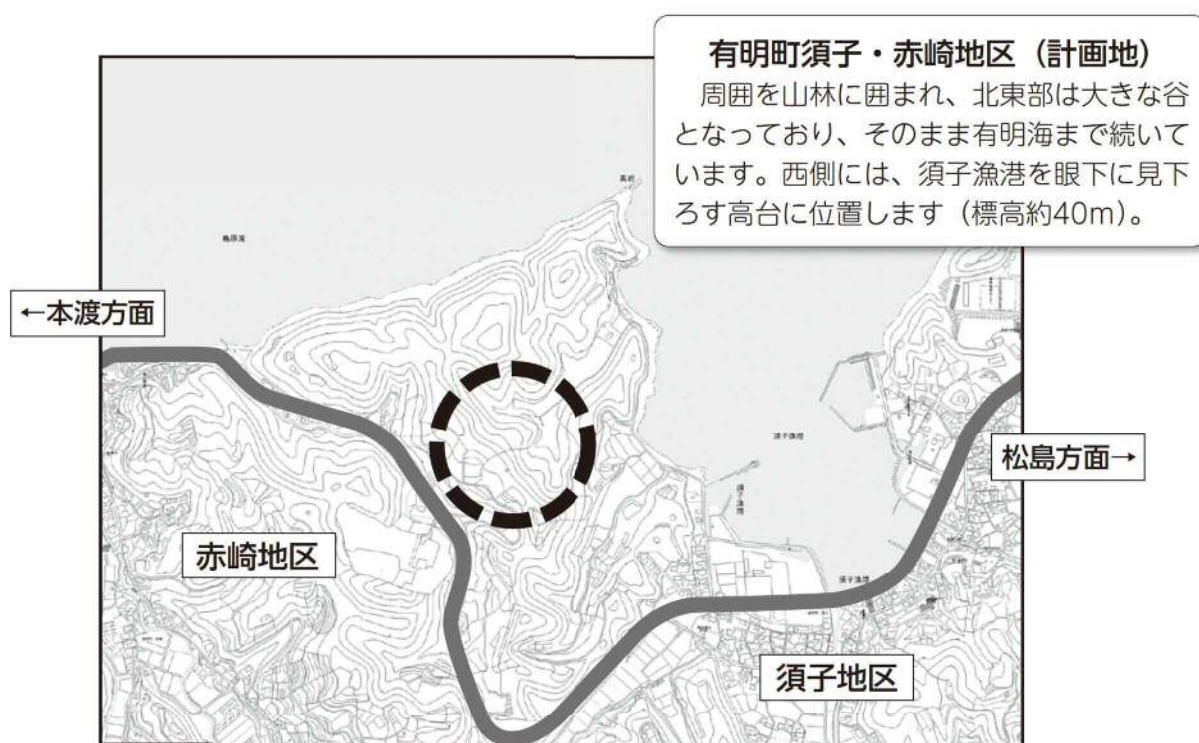
2016.6
第34号

新ごみ処理施設 整備計画について

天草広域連合では、有明町須子地区・赤崎地区にまたがる山間部をもっとも有力な建設候補地として、新ごみ処理施設整備計画を進めておりましたが、地盤が軟弱で膨大な対策費用が必要となることが判明し、有明地区での建設を断念することといたしました。

断念するに至ったその主な理由等についてお知らせいたします。

建設計画地位置図



計画地の地質調査で判明したこと

- 施設の建設を予定している箇所で、破碎帯（はさいたい）と呼ばれる危険な地層（過去に大規模な地すべりが発生したと想定できる地層）が確認されました。
- 造成工事の計画高付近では、亀裂が多く、砕けた状態の地質状況であり、基礎工事に要する費用が多額となることが判明しました。
- 旧水田部については、地盤が軟弱であり、大規模な地盤改良工事が必要であることが確認されました。
- 搬入道路においても、地すべり対策の工事が必要となることが判明しました。

概算の事業費

施設種別	当初計画①	地すべり・地盤改良費用等②	差額 (②－①)
ごみ処理施設	10億円	61億4千万円	51億4千万円
最終処分場		10億7千万円	10億7千万円
搬入道路	5億円	21億5千万円	16億5千万円
水道施設		3億円	3億円
合 計	15億円	96億6千万円	81億6千万円

施設整備費用 (概算) = 焼却施設 (108億円) + リサイクル施設 (31億円) + 最終処分場 (33億円) = **172億円**

整備費総額 = 96億6千万円 + 172億円 = 268億6千万円

現在の候補地へ建設することについてのリスク

- 法面保護や地盤改良に膨大な経費が必要となり、構成市町に対し実際の施設整備費以上の負担金支出を強いることとなります。
- 将来、焼却施設等が傾き、**長期間施設が稼働できない状態**となる可能性があります。
また、大規模災害発生時には、**多額の修理費用**が必要となります。
- 搬入道路が通行できなくなり、**ごみの搬入ができなくなる**可能性があります。
- 大規模災害の発生により、隣接する**建物への被害**や海への土砂流出による、**漁業への被害**が懸念されます。
- 新たに整備した施設が、**操業不能**となり、別の場所へ**新たな施設整備**をしなければならないという、最悪の事態が想定されます。

以上のことから、5月9日の正副連合長会議(天草市長、上天草市長、苓北町長)で「有明地区でのごみ処理施設建設は断念する」ことで決定されました。

今後のことは全くの白紙状態で、ゼロからのスタートとなりますが、これまでご協力いただきました関係者の皆さまに深く感謝申し上げますとともに、今後とも天草広域連合に対するご理解・ご協力をいただきますようお願いいたします。

救急件数が5,980件、火災件数は56件

=平成27年中の火災・救急の概要=

※()は昨年の件数

消防本部警防課では、天草管内における平成27年中の火災、救急の概要【速報値】をまとめました。

■**火災件数** は、前年より5件増の56件（51件）となりました。

種別で見ると、「建物」火災が31件（26件）、枯草やごみ等が燃える「その他」火災が16件（20件）、「車両」火災5件（1件）、「林野」火災2件（4件）、「船舶」火災1件（0件）、「航空機」火災1件（0件）となっています。

火災による死者は、4人（3人）、傷者は10人（4人）でした。

出火原因の主なものは、枯草火災等の種別に分類される「たき火」が15件で最も多く、「不明」が6件、「放火、放火の疑い」が5件、「その他」「こんろ」が各3件と続いています。いずれも屋内外における火気取扱いの不注意が大部分を占めています。

■**救急件数** は、5,980件（5,815件）発生し、前年より165件増と過去2番目に多い件数となりました。

種別の上位は急病が3,445件（3,439件）、転院搬送等が953件（897件）、一般負傷が891件（830件）、交通事故が474件（446件）の順であり、急病が全体の57.6%（59%）を占めています。このうち夏の猛暑の影響による熱中症（疑い含む）は100件（97件）ありました。

傷病の程度別で見ると、中等症が最も多く45%（44%）、入院を必要としない軽症が40%（39%）、重症が13%（14%）、死亡、その他が2%（3%）となっています。

搬送人員は、5,355人で年齢構成別に見ると65歳以上の高齢者が3,724人（3,508人）で全体の約70%（68%）を占め、全国平均55.5%（平成26年統計）と比較するとかなり高く、管内における高齢化・核家族化の影響がうかがえます。

火災・救急件数の推移



■防災消防ヘリ・ドクターヘリの出動件数

は、94件（107件）と昨年より13件減少しています。病院間搬送での出動件数が40件（58件）、救急現場付近へ直接出動した件数が54件（49件）となっており、救急現場から搬送された傷病者のうち16件（15件）は天草管内の医療機関に搬送されています。



▲熊本県防災消防ヘリ

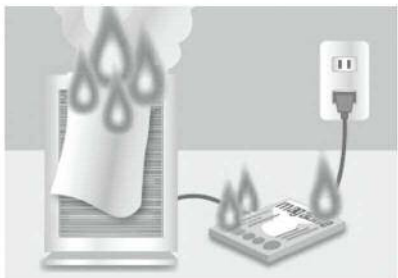


▲ドクターヘリ

通電火災に注意！

通電火災を ご存知ですか？

●復電時の電気火災例



復電後、電気製品に落下した可燃物から発火

「通電火災」とは、大地震や台風などの災害時に、電力線の断絶などのために電気の供給が停止し、停電になりその後、電気が復旧する際に起こる火災の事を指します。

通電火災の原因は、倒れたままの電気ストーブなどの器具に通電して火災が発生したり、ガス漏れが発生しているところに通電して火花が起きて爆発したり、破損したコンセントや切れた電気配線に通電して可燃物に着火したりするなど様々です。

また、通電火災は、住人が避難所等に避難した後など、無人の状態で電気が復電して、火災が発生するため初期消火が困難で、建物が延焼し被害が拡大してしまいます。実際に、阪神・淡路大震災が起きた時にも、原因が特定された建物火災の6割が通電火災によるものでした。

通電火災を防ぐためには以下の対策が必要となります。

1. 避難するときはブレーカーを切る

避難する際は必ず電気のブレーカーを落としてください。

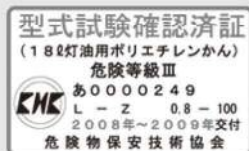
2. 通電火災防止器具を設置する

地震発生時、自動的に供給を止める「感電ブレーカー」の設置が有効です。(器具は様々なタイプがあります。ご家庭で用途に応じた器具の準備をお願いいたします。)



ご家庭の灯油ポリ缶 大丈夫ですか？

確かな製品を



※安全のラベル

安全に保管

使用シーズン後の保管は、灯油ポリ缶の中身を「空」にして、直射日光などが当たらない場所に保管しましょう。



安全に使う

直射日光などの影響を受ける状態の保管は、ポリ缶の劣化が早く進みます。影響を受けない場合でも、5年を目安に取り替えると安全です。

※廃棄時は、灯油が残っていないことを確認し処分してください。

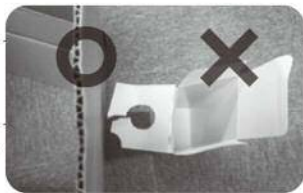
住宅用火災警報器の設置はお済みですか？

住宅用火災警報器は火災からあなたや家族の命を守るための大切な機器です。必ず設置しましょう。



分別にご協力ください!!

資源物分別収集のご協力ありがとうございます。多くの資源物は、各家庭できちんと分別されていますが、一部種類の違うものが混じっている場合があります。少しでも種類が異なるものがあれば、他の多くの資源物まで有効活用されなくなることがあります。もう一度、各製品についている表示マークと、下の表をご確認いただき、各市町のごみ出しカレンダーに従って、分別収集へのご協力をよろしくお願いします。

種 類	※センターでは下記の種類ごと搬入してもらい資源化しています。	注意するポイント
紙 類	①新聞・チラシ	 
	②雑誌・厚紙・ その他の古紙類 	
	③段ボール 	
	④飲料用 紙パック類 	
古 着 類	⑤布類	
缶 類	⑥スチール缶  	中を洗ってから出して下さい。
	⑦アルミ缶	
	⑧スプレー缶・ 卓上用ガスボンベ	中身は使い切って、穴を開けて出して下さい。
び ん 類	⑨透明 ⑩茶色 ⑪その他	化粧品（違う材質が入っている）や灰皿、哺乳ビン（耐熱ガラス）は出せません。
プラスチック製 容器包装類	⑫ペットボトル 	容器の底にヘソがあるものがペットボトルです。 
	⑬プラ製の袋・ 容器 	汚れているもの・中身が入っているものは出せません。カミソリやガラス類で危険なものは厳禁です。
	⑭発泡スチロール	豆腐の容器、カップめん、色つきトレイは出せません。悩んだらプラ容器類へ出して下さい。 
蛍 光 管 類	⑮蛍光管(電球も可)	割れたものは不燃物に出して下さい。
乾 電 池 類	⑯単1～単4 電池	ボタン電池や充電式電池は出せません。
生活金物類	⑰台所用品類 鍋・ヤカン・フライパン・ ボールなど	洗って出して下さい。 ナイフ、フォークなど鋭利なものは出せません。
小型家電類	⑱コード類 ⑲携帯電話 ⑳アダプター ㉑その他の小型家電製品	各市町の回収ボックスへ出して下さい。

こんなものが入っています！

ペットボトル類への混入物



プラスチック製容器類への混入物



段ボール類への混入物



新聞・雑誌類への混入物



各署所の 配備車両

化学消防ポンプ自動車

- 配備場所…中央消防署
- 排気量…6,400cc
- 積載水量…1,300 L
- 薬液量…500 L

一般的な火災に対応するほか、水のみでは消火困難な油脂火災等にも対応する。



水槽付消防ポンプ自動車

- 配備場所
…南消防署西天草分署
- 排気量…6,400cc
- 積載水量…1,900 L

一般の火災に対応する。

高規格救急自動車

- 配備場所
…中央消防署五和分署
 - 排気量…2,700cc
- 救急業務に対応する。



空と海と人とのふれあい

天草広域連合

〒863-0001
熊本県天草市本渡町広瀬1687番地2
TEL : 0969-24-3188
FAX : 0969-24-2726
HP <http://amakusa-kouikirengo.or.jp/>

再生紙を使用しています。

平成28年第2回臨時会

平成28年5月23日に開催された第2回臨時会で、次の議案等について審議され、原案のとおり承認、可決されました。

- 専決処分事項の報告について（和解及び損害賠償の額を定めることについて）
- 平成28年度天草広域連合一般会計補正予算（第1号）